



ヒルガオ

8月10日号  
2010  
vol.117

福岡

# 遠か良

おんが  
議会だより

6月定例会

平成22年度 補正予算 2P

協働のまちづくり ..... 4P

委員会レポート ..... 5P

一般質問 ..... 6P~7P

- ・男女共同参画推進の現状は！
- ・コミュニティバス運行の全体計画は！

わがまちの伝統文化 8P



いきいきサロン(中央区)

6月

# 定例会

6月3日から14日までの会期中、平成22年度一般会計補正予算をはじめ条例の一部改正などが議案上程され、慎重審議が行われた。

平成22年度

## 一般会計補正予算

### 1162万1千円増額

#### ■主なもの

##### ●コミュニティ補助金

700千円

平成20年9月より自主的に活動していた芙蓉区の自主防災組織に、宝くじ振興補助金を活用し、担架・AED一式等の購入費を補助する。

##### ●消防団員退職金

991千円

消防団員等公務災害補償等共済基金から2名に支払う。

##### ●障害福祉施設運営費委託料

1,350千円

障害者支援センターさくらにおける重度障害者増のため、介助員を増員する。

##### ●がんばる地域まちづくり事業補助金

1,000千円

##### ●住民向け出前講座事業費

50千円

##### ●少人数学習の講師賃金

▲2,064千円

島門小学校の新一年生が82名で確定し、1クラス27〜28人となり、非常勤講師の必要がなくなった。

##### ●歴史自然公園管理費

210千円

島津・丸山歴史自然公園のトイレ浄化槽マンホールの蓋が腐食しているため交換する。

##### ●印刷製本費

604千円

10月から芦屋町と電算システムを統合するにあたり、税の納付書や封筒を印刷する。

##### ●手数料

304千円

10月からのコンビニ収納サービス開始に係るもの。



▲歴史自然公園

## 認定

### ●町道路線の認定

(全員一致認定)

駅南側と駅北側を結ぶ自由通路(希望のかけ橋線)を町道とする。

◀予定図



## 条例

### ●一括議題

〔附属機関の設置に関する条例の一部改正

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び

費用弁償に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

町長部局の附属機関に「がんばる地域まちづくり事業審査会」を追加し、併せて委員報酬及び費用弁償の額を定める。

### ●一括議題

〔職員の育児休業等に関する条例の一部改正

職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

職員の仕事と子育ての両立支援にかかる育児休業等の制度を整備する。

### ●一般職職員の給与に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

人事院規則の改正により時間外勤務手当の支給率が確定した。

### ●職員の退職手当に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

雇用保険法等の一部が改正されたことに伴い条文を整理する。

## 専決

### ●平成21年度一般会計補正予算

### ●税条例の一部改正

### ●国民健康保険税条例の一部改正

## 意見書

### ●不法係留船対策を求める意見書

(全員一致可決・関係機関に送付)

西川におけるプレジャーボートの不法係留は、利用者の不法投棄や騒音、災害時の被害拡大の危険性など、地域住民の生活環境を脅かすものである。今後、段階的に重点撤去区域を設定し早期に実施することを要望する。



▲増水時の不法係留船



### ●「拡大生産者責任」「デポジット制度」の導入で循環型社会の再構築を求める意見書

(全員一致可決・関係機関に送付)

国は、1997年に「容器包装リサイクル法」を施行したが、この法律に従って懸命に資源を抜き出し、ごみ削減に努めても、毎年増加する生産量に対し、市町村のごみ処理経費は増加の一途をたどっている。さらにごみ質の変化でプラスチック類が氾濫する今日、後始末だけが市町村の責任とされる現行法は多いに疑問だ。市町村は、厳しい財政難の中で過剰な生産物の後始末に多額の税金を投入する余裕はない。

よって、国会及び政府に対して、製品の生産者とその製品の処理や再利用に責任を負う「拡大生産者責任」及び「デポジット制度」を導入し、循環型社会を再構築するよう要望する。

#### 「拡大生産者責任」

製品の生産者が、使用済み製品を回収、再利用または廃棄し、その費用も負担すること。

#### 「デポジット制度」

再利用のための回収を目的として、製品価格に一定金額のデポジット(預託金)を上乗せして販売し、製品や容器が使用後に返却されたときに預託金を返却する制度。



# 遠賀町 協働のまちづくり事業

6月定例議会にて議決されました新たな事業を紹介します。

## がんばる地域まちづくり

協働のまちづくりを推進する提案公募型事業です。住民課に協働・人権推進係を新設し、皆さんと一緒によりよい遠賀町をつくっていくために自発的に社会貢献活動する団体等を応援します。

### 出前講座

この講座は、町民の方々の町行政への理解を深めるとともに、情報の共有及び学習機会の拡大を図り、住民参画による協働のまちづくりを推進することを目的としています。

町民の皆さんと一緒に、地域からの活力と行政との協働で活気ある自立したまちづくりに取り組みましょう。

#### ○事業概要

町民の方々などで構成される団体やグループ(10名以上)を対象とし、町の職員等を講師として派遣し、町行政に関する説明、専門知識を活かした講座などを行います。

(講師派遣料は無料)

#### ○申込み方法

希望日の20日前までに申請が必要です。

#### ○開催講座

全25講座。議会も議会の仕組みについて講座があります。

(議場見学もできます)

#### ○開催時間

毎日9時から21時までで曜日は問いません。

(年末年始は除く)



### 協働とは？

同じ目的のために対等の立場で協力して共に働くこと。

#### ○対象事業

団体が主体となって、住民や町との協働により実施する事業。ただし、小学校区単位など一部の地域を対象としたものや、施設等の整備、町が実施している事業と類似したものは対象となりません。

#### ○募集期間

(第一次募集)  
7月1日(木)～8月31日(火)

#### ○補助額

30万円を上限とし、補助対象額から収入額を控除した額を補助します。

#### ○対象団体

◇民間の非営利団体。(法人格の有無は問わない)  
◇単なるグループではなく、団体としての目的や意思、継続できる組織を有する団体。  
◇10人以上の構成員を有することなど、すべてに該当する団体。

#### ○決定方法

審査会にて事業内容を審議し、町長が決定します。



◆申し込み・問い合わせ 住民課 協働・人権推進係

## 基地対策特別委員会 基地整備計画現地調査



▲教育実習場予定地

7月22日(木)基地対策特別委員会は、航空自衛隊芦屋基地整備に伴う松樹伐採による、周辺地域の潮風害の影響を調査するため、現地を訪問しました。



▲格闘場予定地

## 第一常任委員会 中央公民館改修現地調査



▲内部の耐震補強

耐震用鉄骨  
バックトラス設置▶



エレベーター設置▶



7月26日(月)第一常任委員会は、現在工事中の中央公民館改修の途中経過を視察しました。築35年が経過し、老朽化が進んだことを受け、各種交付金を活用することで、耐震化をメイン(中心)とした大規模な工事内容となる予定です。

工事期間は平成22年12月10日まで。今後とも工事の進捗状況を委員会として確認していく必要がありますと考えています。

第12回おんがレガッタが5月29日遠賀川漕艇場で開催されました。今年度は、本町議会議員からの呼びかけにより、郡内4町より各町の議会チーム、各町の町長会チームが参加しました。全24の参加チームで500メートルのタイムを競い合いました。

遠賀町議会チームは予選4位で敗者復活戦のぞむも惜しくも2位で、決勝進出できませんでしたが、大会前に悪天候が続ぎ、波が高かったり練習が思うようにできませんでしたが、次回は十分に練習を重ね挑戦します。

競技終了後は4町の町長、議員による懇親会で情報交換をし、相互の親睦を深め、実りある大会でした。

今後はレガッタ大会だけで終わるのではなく、もっと広い分野にわたって呼びかけ、郡消防や航空自衛隊芦屋基地による水防救助訓練の実施を取り込んだりし、町内最大のイベント、郡内を流れる遠賀川の「川まつり」として定着できるように考えていきたいと思います。

## おんが レガッタ



## Q

### 本町における男女共同参画推進の現状は！



はぎもと えつこ  
萩本 悦子 議員

## A

互いを尊重し、男女とも自立して支えあう意識づくりは、少しずつ進んでいる。



「男・女セミナー」開講中

文部科学省委嘱  
「人権教育推進のため  
の調査研究事業」

**議員** この事業は住民団体が主催している男女共同参画講座「男・女セミナー」に委託されたものだが、この事業の成果は。

**教育長** 大きな成果としては、互いの意見を積極的に述べ合うことができるようになってきていることと思う。

**議員** 確かにワークショップ等では、活発な意見交換がなされているが、反面、課題も見えてきたのでは。

**教育長** 課題の一つとして、男性の受講生が少ないということ、また、この講座が、女性のリーダー育成になるのか、ということが挙げられ

る。このことについては、今後、検証していきたい。

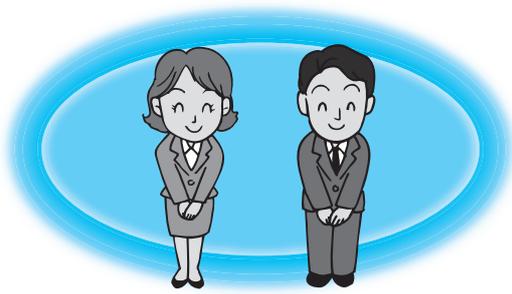
**議員** 「男女共同参画」は、「人権問題」という教育委員会の姿勢は、評価するが、具体的に住民の皆さんにどのように啓発していくのか。

**教育長** そういうところを含めて講座のテーマや講師の選定にあたっては、今後とも十分、検討していきたい。

**議員** 毎年、12月に行なわれる人権週間講演会で「男女共同参画」や「女性問題」をテーマにした講演を開催してはどうか。

**教育長** 大切なことと思う。検討していきたい。

事前に提出しました一般質問通告書では、町長に対して、  
①本町における男女共同参画推進の現状  
②男女共同参画社会推進計画の内容について質問する予定でしたが、町長病気療養のため、次回に行いません。



一般質問の詳細については、遠賀町ホームページ「ようこそ議会へ」に議事録を掲載していますので、ご参照ください。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



はまおか 浜岡  
みねさと 峯達 議員

## Q

### コミュニティバス運行の全体計画は!

## A

### 今後3年間のコミュニティバス運行については、継続をする。



町内運行中のコミュニティバス

#### コミュニティバスの運営

**議員** 将来的にどのような方法でコミュニティバスを運営するのか。

**副町長** 遠賀町地域公共交通総合連携計画を立て、実証運行を実施している。

**議員** バス対策協議会が年一回しか開催されていないが、論議は十分尽くされているのか。

**副町長** 地域公共交通活性化協議会の委員と重複している委員もいるので、その中で報告と意見をいただいている。

**議員** 実証実験ということだが、本年度はともかく次年度、最終年度までの計画はどうなっているのか。

**副町長** この一年間、しっかりと皆さんに、説明していきながら、今年度中に一部改正できるところはやっていきたい。三年間の方向性としては、コミュニティバス

をいかに利用していただくか、今から空白地帯を模索していき、拠点運行ができればと考えている。

**議員** 執行部の仕事を批判するわけではないが、事業計画を立てたら、年度ごとに目標値を決め、具体的に5W1Hの手法等を使って明示しないと解決は難しいと思うがどう考えるか。

**副町長** 通常の目標値を設定して、利用者が何人来るかということではなく、これを維持するためどのような方法がいいかということ、計画を立ち上げた。議員指摘のように、年度別に記載すればよかったが、上部団体との協議等あったので、具体性を欠いた。

**議員** 住民の皆さんに理解を得るための啓発活動と、住民の皆さんに目線を置いた仕事をやっても

らいたい。

**副町長** バス事業に関しては、情報を積極的に開示していく、声を聞く、また意見を聞く場所を設けてやっているの、理解していただきたい。

**議員** 地域公共交通活性化協議会が取上げている緑光苑の問題と、霊園入口のバス停の問題について復活する考えはないか。

**副町長** 課題としてしっかりと内部で詰めていき、住民の皆さんと協議させていただいて、手続の関係とかいろいろある中で、変更可能なところは既に指示をしているので、今しばらく待つていただきたい。

**議員** 今回路線の変更で利用者に、インパクトを与えたと思っているが、逆にこれが悪影響になっていることに対して、執行部として十分踏まえて

いただきたい。

わがまちの

# 伝統文化

守り継がれる地域行事

## ●千灯供養

京都市北西郊外北野念あたしの仏寺では、地藏盆の八月二十四日、無縁仏の供養を行なう。昔、この地の山の中に無数の無縁仏があつたのを、地元の人たちが寄せ集め、毎年この日に供養するようになったと伝えられている。京都の過ぎ行く夏の夜の素朴な行事として現在に引き継がれている。



### 【京都の地藏盆】

八月二十四日、京都の子どもたちは、地藏を中心に集まり、提灯を並べてホオズキ、モチ、サツマイモ、カボチャなどや香花を供え、念仏を手向けたりする。これは、京都洛外の六ヶ所に地藏寺を分置し、縁日の旧七月二十四日に供養したこと

### 【盆踊りの起源】

盆踊りを踊り始めたのは、一遍上人（鎌倉時代）であると伝えられている。一遍上人は念仏を唱えながら全国各地を行脚した。民衆は、念仏に合わせ、鐘や太鼓を手に手に踊りながらついでに呼ばれ、やがてお盆にも踊るようになった。

### 【別府区の千灯供養】

別府区でも盆が過ぎると、老人や子どもたちが、今泉神社内の地藏を中心に集まり、提灯を並べて野菜や果物を供え、念仏に手向ける。一時中断し

たが長寿会のかねてからの念願が叶い、県の「ふるさとの文化伝承」事業で復活した。



この千灯供養は、いつの時代から行なわれたかわからない。おそらく、別府の地に眠り続けている無縁仏を供養するために、地元の人たちが集まり、毎年供養を行なったのが始まりだと思う。この行事は、長寿会・子ども会・千灯明会などの共同作品であることに大きな意義がある。これから

別府区 仲野 照彦  
山中 圭介

## 訂正とお詫び

遠賀議会だより5月10日号Vol.116の2ページ「一般会計予算」の円グラフに誤りがありました。歳入のうち、「分担金負担金」は依存財源ではなく、自主財源に含みます。左記のとおり訂正してお詫びいたします。

<b>正</b>	自主財源 依存財源	55%
<b>誤</b>	自主財源 依存財源	42% 58%



### 広報調査特別委員会

委員長	舛添 清美
副委員長	三原 光広
委員	堅田 繁
	古野 修
	平見 光司
	萩本 悦子
議長	濱之上喜郎

# 次回の定例会は 9月です。

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は8月下旬に町ホームページでお知らせします。議会だよりに関するご意見ご感想をお待ちしております。

遠賀町議会事務局 TEL293-1235  
e-mail: gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp

## 編集後記

7月14日、遠賀町でも災害対策本部が設置され、近年まれに見る大雨により河川の増水や道路冠水、床下浸水や一部に避難指示が発令されるなどの水害にみまわれました。

災害時対応の防災行政無線や防災マップも活用・使用されました。私たちが、浸水箇所での車両や通行者の誘導や水害状況の確認作業を行いました。その折、町内各所で地域の皆さん方の対応や共助を見ることが出来ました。

消防団の河川溢水や浸水箇所での対応や公民館に避難された方々への地域での活動、高齢者世帯への対応や自主的に車両の誘導や通行人への手助けをされる方などたくさんありました。

今後、「協働」について事業が取り組まれていきますが、今回、地域の皆さんの対応や共助こそが「本当の協働」と実感する一日でありました。

三原 光広